

科目名	インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

科目の概要

10日 (60時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早く取れる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期で開設されるインターンシップ入門を受講すること。

評価

受け入れ先の評価 (A)、インターンシップレポート (B)、それに巡回指導 (C) に基づいて行う。その点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特にない。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

科目名	インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

科目の概要

10日 (60時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早く取れる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期で開設されるインターンシップ入門を受講すること。

評価

受け入れ先の評価 (A)、インターンシップレポート (B)、それに巡回指導 (C) に基づいて行う。その点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特にない。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、1週間程度はしっかりとフィードバックし、反省点を明確化しておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特になし。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックし、反省点を明確化しておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

特になし。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

科目名	文化と発達		
担当教員名	東畑 開人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

心理学や心理療法が文化によって異なるものであることについて学ぶ。そうすることでこれまで学習してきた心理学の知識や考え方の相対化を行う。

科目の概要

文化人類学、科学哲学、心理学史などの研究成果に加えて、教員のフィールドワークについて講義を行い、心理療法や心理学が異なる文化では異なる形をとることについて、具体的な事例をもとに学んでいく。

学修目標 (= 到達目標)

心理学や心理療法を必要として現代社会の特異性を理解し、心理学や心理療法の本性について習熟すること

内容

- 1 . イントロダクション 人類学 + 心理学
- 2 . ポストモダンの臨床心理学 なぜ心理療法には様々な学派があるのか
- 3 . 心の病とは何か 文化結合症候群と見立てという物語
- 4 . 心理学という文化
- 5 . チンパンジーは心を病むのか 象徴以前
- 6 . 神と霊が癒す - 傷ついた治療者
- 7 . 心未満 - 催眠術と千里眼
- 8 . PSYの王様フロイト 物語としての自己
- 9 . 心理療法家の作り方 心理療法はどこまで宗教なのか
- 10 . 心理療法の日本の変容 心理学しないことと気の治療
- 11 . ドラッグ・脳・SF 神経化学的自己
- 12 . 軽躁時代の癒し 自己啓発・スピリチュアリティ・野の医者
- 13 . 自己マネジメントの時代の認知行動療法 小さなSMAPの内なるマネージャー
- 14 . 心理療法とは何か 心の健康は複数である
- 15 . まとめ

評価

毎回のレポート提出 20点と、最後の大レポート 80点によって評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】文献の該当箇所を読んでくる

【事後学修】現代の心理学的事象について体験してくる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東畑開人 日本のありふれた心理療法 誠信書房

東畑開人 野の医者には笑う 心の治療とは何か 誠信書房

科目名	中高年期の心理臨床		
担当教員名	川元 克秀		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、心理学科の専門選択科目として、前期開講の心理学科必修科目「中高年期の心理学」で得た現実認識能力を前提に、今、実際に生きている人々の語り・言葉を手掛かりに、個別事例について中高年期に特有な心理状態を分析し考察する能力の獲得を目指し、開講する。

科目の概要

世界中で起きているさまざまな現実のひずみに関し、人は、自らの心の平穏を保つために「あえて見ないようにする」ことがある。また、仮に自分の目に入っても、自分の耳に聴こえてきても、「他者がそのような状況にあるのは分かったけれど、自分は体験したことがないので、リアルに感じられないから」と理由をつけ、気にかけてない・働きかけない・自分に出来ることをしないとといったことをする場合がある。本科目は、このような現実認識を前提に、中高年期の諸課題を、他者の「語り」を通して実感的に理解し、分析・説明・解釈できる力を獲得することを、目的とする。

学修目標 (= 到達目標)

本科目は、 1) 「体験していないから分からない」という論理の中にいる自分は何に囚われているのか？、 2) 世界中の中高年の現実に対し一人の市民として貢献し得る側面は何なのか？、 3) 中高年期に固有な支援内容の詳細とは何なのか？、について、一般論ではなく個別対象に則して、それらを分析・考察・判断できる能力を高めることを、目標とする。

内容

本科目では毎講義回、学習方法に「ペアワーク (双方向に言語化が試みられた結果としての『異なる意味世界』の共有実践) 」を用いる。ペアワークでは、我が国で起きているさまざまな「中高年者に関連した社会問題」を題材とし、その題材内容・論点に対する自らの有り様・立場について、主体的かつ能動的に言語化しながら考えることを課す。次に、ペアワークにより得た「気づき」を前提に、関連した専門知識を講義形式により学習する。各開講回に取り上げる題材のテーマは、以下の通りである。

1	講義の進め方と成績評価方法の説明と、次回までの課題を提示
2	「最先端の科学技術と更新されにくい倫理観と自分」：晩婚化する中年期女性の新たな苦悩
3	「母親としての中高年期と自分」：出生前診断の発達と障害を持つ子の親になること
4	「ボランティアな他者への慈しみと自分」：家族を守る役割と中年期女性 (骨髄バンクの現実)
5	「出産することと自分」：新生児医療と初産女性が直面しやすい現実 (パルモア病院の取組み)
6	「障害を持った子どもは、とりわけ育児が難しいのか？」：ダウン症児への育児的関わり
7	「セクシャルマイノリティと自分」：文化再生産の担い手としての中高年期と少数派差別
8	「文明と自分 (自分が幸せなのは文明的だからなのか？) 」：ヤノマミ族の生活と幸せの条件
9	「養子縁組で親子関係を創ることと自分」：養子を迎えるまでの中年期夫婦の日々
10	「老親介護で自分は何を重視するのか？」：中年期の実親への介護と、外国人労働者の上昇志向
11	「人間の命の重さと商業主義と自分」：H I V コピー薬と特許保護を主張する企業の論理
12	「『エコな生活を志向する自分と世界』：洗剤原料生産のプランテーション農業と日常生活
13	「無縁社会と自分」：無縁死・孤独死していく高齢者と他者との繋がり

14	「生涯未婚と自分」：血縁・地縁・婚姻縁に頼った繋がり方を越えた高齢期の新たな関係観
15	学習のまとめ：新たな中高年期を生きる世界市民として、自分を見つめて

評価

評価内容の構成は、平常点70%（「5点/回」×14講義回=70点）と、期末レポート30%（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点とは、講義中の『ペアワークへの取り組み姿勢』と『題材振り返りの小レポートの内容』を指す。【フィードバック】重要な論点を含むに「題材振り返り小レポート」の内容は、次回講義時に紹介し、学生にフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】次回の講義内容に関し、事前に発想を深めてほしいポイントを提示し、講義回当日のペアワークの基礎とする予習を課す。

【事後学修】毎講義内に提示する題材について、教員が示した論点から題材を振り返る課題を課す。「振り返り」の結果は、毎回「小論文形式のレポート」にて提出を求め、評定に含める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しない。なお必須ではないが、推薦図書として以下の書籍に受講前に目を通しておくことが望まれる。

【推薦書】「家族が高齢者虐待をしてしまうとき」、加藤伸司・矢吹知之(著)、ワールドプランニング、2012.

科目名	障害者の心理学		
担当教員名	伊藤 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

障害の状態にある人の機能的制約は、環境によって異なるため、環境因子の一つとして、適切な支援を行うことは極めて重要です。本科目は、これまで学んできた知見を踏まえて適切な支援を行うための学習を通し、自らの生き方を考える科目です。

科目の概要：

各障害の診断基準および心理学的特徴に関して学習します。各障害の特徴に配慮した支援の在り方について受講者とともに考えていきます。

学修目標 (= 到達目標)：

1. 障害の理解。
2. 各障害の診断基準及び心理学的特徴の理解。
3. 上記を踏まえた上での各障害への対応及び支援の理解。

内容

- 1 オリエンテーション
- 2 障害とは
- 3 自閉^o外^o症児・者の心理学的特徴と支援 (1)
- 4 自閉^o外^o症児・者の心理学的特徴と支援 (2)
- 5 限局性学習症児・者の心理学的特徴と支援
- 6 注意欠如/多動症児・者の心理学的特徴と支援
- 7 知的発達症児・者の心理学的特徴と支援
- 8 視覚障害者・聴覚障害者・言語障害者の心理学的特徴と支援
- 9 肢体不自由者・重度重複障害者・病弱者の心理学的特徴と支援
- 10 精神障害者の心理学的特徴と支援
- 11 各障害児・者の心理学的特徴と支援のまとめ
- 12 グループ発表 (1)
- 13 グループ発表 (2)
- 14 グループ発表 (3)
- 15 まとめ

評価

100点満点中、日常点 (課題提出・小テスト・授業態度・発表など) 40%と、期末テストの成績60%を成績評価の対象とし、60点以上を合格とします。ただし、期末テストの得点が60点に満たない場合には、不合格となります。

授業外学習

【事前予習】講義予定の教科書あるいはプリントの該当ページを予め読んでおいてください。

【事後学修】講義終了時に毎回課題を出しますので、それに基づいて当該講義の復習をしてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】伊藤恵子著(2015)『教育・保育・子育て支援のための発達臨床心理学』文化書房博文社

科目名	心理療法		
担当教員名	堀川 聡司		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、講義の内容を出発点として、参加者各自の自習、積極的な意見交換が求められる、学生参加型の授業である。

科目の概要

今日「心理療法」と名づけられる心理療法は数えきれないほどある。これほど多様な心理療法が生まれることになった理由は、実践現場におけるニーズに従ったからに他ならない。本科目では、そのように多様化した心理療法の世界を概観し、各々の心理療法がどのような歴史的文脈から生まれてきたのかを学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

心理療法という実践がどのようなものか、その概観を掴み、自身が関心を持った心理療法 (少なくとも一つ以上) について、その理解を深める。

内容

予定する講義内容は以下の通りである。

注意 本講義は、意見交換・発表など参加型の講義形態を取る。そのため、受講生には積極的な参加態度を求める。

1	イントロダクション
2	心理療法史
3	心理療法以前のこころの治療
4	精神分析の誕生
5	フロイトの精神分析
6	フロイト以後の精神分析
7	行動療法・認知療法 1
8	行動療法・認知療法 2
9	来談者中心療法
10	芸術療法
11	集団療法
12	家族療法
13	遊戯療法
14	日本独自の心理療法
15	まとめ

評価

出席点・平常点を30点、期末レポート70点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】心理療法に関する書籍を何か一冊読んでおくことが望ましい

【事後学修】関心をもった心理療法について、さらに学習を進めること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】乾(2005)『心理療法ハンドブック』（創元社）

【参考図書】東畑(2015)『野の医者笑う』（誠信書房）、堀川（2016）『精神分析と昇華』（岩崎学術出版社）

科目名	発達臨床フィールドワーク		
担当教員名	伊藤 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

専門科目の発達領域および臨床領域で学んだ心理学の知見を基礎として、「心理学」が社会のさまざまな場で、どのように役立っているのかを実習を通して具体的に理解する科目です。

科目の概要

いくつかの臨床現場（医療・保健の施設や機関、学校教育および関連する施設や機関、社会福祉関連の施設や機関）に向いて見学させていただくとともに、現場で従事されている専門家の方からのお話をうかがいます。事前のガイダンスと事後のまとめを見学ごとに行います。

学修目標

知識として学んできた発達心理学や臨床心理学などが現場でどう生きているか、現場で「心理学を活かすこと」にどんな難しさがあるのか等、発達臨床に対する理解を深めます。さらに、受講生が自分の将来の道を考える上での「心理学を活かす」という視点を実質化することを目指します。

内容

1. 現場（医療・保健関連、学校教育関連、社会福祉関連の施設や機関を予定）への見学等が学習活動に含まれます。
2. 現場見学にあたっては、事前のガイダンスを実施します、事後のまとめを実施します、見学にかかる経費（交通費など）は受講生の自己負担となります。
3. 見学を実施する時期は、通常の授業が行われない日程となります（例えば集中講義期間、春期休業期間）。
4. 現場見学を行うために、受講生の人数（上限）を設定します。
5. 見学先、時期、受講制限などについては、学科オリエンテーションにて説明します。

評価

見学ごとのレポート（100点）にて評価し、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】見学予定の施設に関して事前に十分学習し、見学の視点を明確にしておいてください。

【事後学修】各施設の見学で学んだことを整理し、最終的にレポートを作成してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】事前ガイダンスにて、お伝えします。

科目名	人間発達演習		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

4年次の卒業研究へと継続する科目であり、受講生各自の問題意識に基づいた課題設定のもとに、主体的で探究的な学習活動を展開することが必須となる。

科目の概要

人間の発達、心理臨床、日常生活場面における人間の行動に関する諸課題について、担当教員の専門領域に基づいた研究アプローチを基本として、基礎的文献の講読、個人およびグループによる実証的研究の実施および発表と討論を行う。

学修目標

発表・討論などを通じて、取り上げた課題に対する理解を深めるとともに、その解決に向けた研究方法の習得を目的とする。

内容

導入的専門書・研究論文の講読

心理学および担当教員の専門領域に関連した導入的専門書や研究論文の講読を通して、心理学的な考え方や研究の進め方について理解を深める。

講読した内容は、レジュメにまとめるとともに、口頭発表を行い、知識・理解の共有を図る。

研究実習

質問紙調査法・観察法・実験法を利用して、特定のテーマについて研究を進める。

- ・テーマの設定、テーマに関連した基本的事項の理解
- ・研究仮説の設定、研究計画の設定
- ・研究の実施
- ・収集したデータの集計・分析、仮説の検証
- ・研究レポートの作成、研究結果の発表

【注：具体的な学習活動は、担当教員および受講生の研究テーマによって異なる場合もある】

評価

通年での学習活動（レジュメに基づく口頭発表、研究実習など）および研究レポートの内容に対する総合的評価を100点とし、60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】担当教員の指示する学習内容について積極的に文献、図書等で調べてくること。

【事後学修】レジュメの発表、ゼミでの討論を踏まえ、卒業研究の計画を立案し、準備を進めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

担当教員ごとに授業内で指示する。

科目名	発達心理学外書講読		
担当教員名	石田 有理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

心理学研究法・演習・実験 専門科目

科目の内容

英文で発達心理学および発達臨床心理学の文献を読む。人の発達はその人の育つ社会や文化と切り離せない。世界中で研究されている発達心理学は国によっていろいろな発達の様相を示しているが、日本語で読めるのはそのごく一部である。英語で文献を読むことによって、世界の文化のなかの多様な人の発達の姿を見ることができる。大学院進学者の受験対策も兼ねているので、大学院進学を考えている学生には受講をすすめる。

学修目標

- ・ 英語文献を効率的に読むことができる
- ・ 英語文献の要点を読みとることができる
- ・ 英語文献の内容を理解しまとめることができる
- ・ 英語文献を読むことを通し、様々な文化の中での発達の様子を知る

内容

15回の授業を通して、発達心理学と臨床心理学に関係した文献を読む。文献は担当者が用意する。

- ・ 発達心理学の歴史上重要でよく知られている研究についてやさしく書かれた文を読む。
- ・ 臨床心理学のなかで受講学生の興味に従って文献を選び、読む。

毎回指定箇所の内容をレジюмеにして発表してもらう。

評価

毎回のレジюме作成・発表 (50%)、期末試験 (50%) とし、総合得点60点以上で合格とする。

授業内でレジюме・発表の内容について講評を行う。期末試験は採点して個別に返却する。

授業外学習

【事前予習】当該箇所を事前に訳し、レジюмеにまとめてくる。

【事後学修】授業内での発表に対する教員のコメントを確認し、内容の理解を深める。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業時に指定する。M.Cole「the development of children」, 「Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology」などから抜粋して読む予定。

科目名	カウンセリング技法入門		
担当教員名	東畑 開人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

「臨床心理学概論」を基礎としたうえで、「カウンセリング基礎 」、「カウンセリング基礎 」、の応用科目である。

科目の概要

実践的な演習を通して、カウンセリングの技法を習得することをねらいとしている。DVDによる映像教材及びロールプレイを行うことで、カウンセリング技法を復習する。その後、受講生同士がペアとなり、授業時間以外で試行カウンセリングを行う。録画したDVDと発話を逐語録にしたものをもとに、クラスでディスカッションを行う。したがって、授業時間外に2, 3時間の事前学習が必須である。

学修目標 (= 到達目標)

- ・カウンセリングの疑似的体験を通して、カウンセリング技法の理解を目指す。
- ・DVDや逐語録により、自分や他者のカウンセリング技法を客観的に分析し、改善点を見出す。

内容

1. イントロダクション 授業の説明
2. カウンセリング技法 - 聴く
3. カウンセリング技法 - 訊く
4. カウンセリング技法 - 考える
5. 試行カウンセリングの実践と討議
6. 試行カウンセリングの実践と討議
7. 試行カウンセリングの実践と討議
8. 試行カウンセリングの実践と討議
9. 試行カウンセリングの実践と討議
10. 試行カウンセリングの実践と討議
11. 試行カウンセリングの実践と討議
12. 試行カウンセリングの実践と討議
13. 試行カウンセリングの実践と討議
14. 試行カウンセリングの実践と討議
15. まとめ

評価

各回のレポート提出が20点、提出物40点と期末レポート40点で総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】試行カウンセリングを実施し、逐語録を作成する。

【事後学修】試行カウンセリングの討議をもとに、振り返りを行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない

【参考図書】授業で適宜紹介する

科目名	発達支援活動		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

専門科目の発達領域および臨床領域で学んだ心理学の知識や技法を基礎として、支援活動の実践に取り組む科目である。

科目の概要

人間発達心理学科では、学科・学校を窓口として、大学周辺の県市教育委員会によるボランティア活動への応募取りまとめと相談を行っている。その他にも、多くの市区教育委員会から要請のあった学校教育ボランティア、社会福祉施設・団体等から要請のあったボランティア活動を随時紹介している。

発達支援活動とは、学科の学生が小中学校等で行う教育ボランティアや福祉施設等で行う各種ボランティア活動を通じて、1) 臨床・実践場面において、心理的側面から支援・援助活動に取り組む意義を理解するとともに、2) 人々との交流を深めるなかで、専門科目で学んできた心理学的な知見・理論・技法の理解を深化充実させることを目的とする。

学修目標

活動先において責任者の指示を厳守し、対象となる人々のために活動する。支援活動を通じて、自らの専門知識や技能の有用性と不足点を確認する。

内容

1. ボランティア活動への応募にあたっては、活動の趣旨・目的を十分に理解すること。
2. 実際に活動するにあたっては、活動における遵守事項や留意すべき点をふまえ、学校長など活動を要請する側の要望に沿うよう注意すること。
3. 活動を行うなかで、活動を通して学び理解したこと、大学で学習した事柄と実践的な活動をどのように結びつけたのか、さらには、大学で今後学習すべき課題は何かを、自省すること。
4. 活動の終了時には、活動全体を振り返り、交流してきた人々にとっての活動の意義や収穫、および、学生自身にとっての活動の意義や成果をまとめること。

評価

活動の合計時間が学科で定める時間等に達していることが評価の前提となる。

活動受け入れ先の責任者が認めた活動報告 (50点) と、レポート・口頭発表 (計 50点) により、総合的評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】それまで学科で学んだ心理学的な知識 / 態度 / 技能を活用できるようにしておく

【事後学修】こどもたちとの関わりの具体的 / 表面的な事柄にとらわれることなく、本質的な課題、内面的な変化などを洞察すること

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【推薦書】学校教育ボランティアの場合：菅野純 『不登校 予防と支援 Q & A 70』 明治図書

科目名	人間関係の心理学		
担当教員名	山下 倫実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間発達心理学科の選択専門科目である。1年次の社会心理学概論で学習した対人魅力領域の話を発展させ、その観点から人間関係について考える。よって社会心理学概論の知識が基礎となり、またコミュニケーションの心理学、対人社会心理学とも密接な関連を持つ。

われわれは人を好きになったり嫌いになったりする。人に対して好意を感じることは人間関係を成立させるきっかけとなり、さらにその関係を親密な関係へと進めていく力を持つ。この、人を好きとか嫌いとか感じることを社会心理学では「対人魅力」と呼び、それにまつわる多くの研究がこれまで行われてきている。この対人魅力は対人関係進展のために欠かせない要素である。本講義では、対人魅力を中心とした人間関係に関わる社会心理学的な実証研究について、その方法、実験結果などを詳しく解説し、その知見に基づき人間関係の形成、進展について解説をする。

対人関係領域の知識を身につけると共に、多彩な研究例から研究の考え方ややり方などの方法論についても理解を深め、受講生自身の問題意識の明確化に活かして欲しい。また受講を通して、日常生活においてよりよい人間関係をつくるためにどのようなことが重要であるかを考えるきっかけにもなるとよい。

内容	
1	ガイダンス：対人魅力とは何か
2	好意をどのようにして測定する？
3	側にいる人を好きになる？好きな人の側にいたい！
4	美しい人を好きになる！美しい人に幻滅する！
5	美しく装って魅力を高める - 被服・化粧と対人魅力 -
6	人の心をひきつける性格
7	自分と似た態度を持つ人を好きになる！
8	能力が高い人は本当に好かれる？
9	中間テスト
10	魅力を高める自己開示・自己呈示
11	傷ついた時に側にいてくれる人を好きになる？
12	相手から好かれることの効果
13	環境条件と魅力の関連
14	対人関係の親密化～魅力が力を発揮する時
15	対人関係の進展と崩壊

評価

期末テスト70点+中間テスト30点により評価を行い、60点以上を合格とする。出席については、2/3以上の出席が必要。満たさない場合には、単位は取得できない。

授業外学習

【事前予習】次の授業のキーワードについて自分で調べて予習してくる

【事後学修】学習内容についてノートを整理し復習する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	グループダイナミクス		
担当教員名	風間 文明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間発達心理学科の選択専門科目である。社会心理学の中の集団に関する研究領域を取り上げる。よって社会心理学概論の知識を基礎とする。また他の社会心理学領域の科目とも関連があり、特に産業・組織心理学との関連は密接である。

グループ・ダイナミクスとは、集団およびその成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の1分野で、心理学では主に社会心理学においてその領域の研究が行われている。具体的には、集団の形成過程、集団内の地位・役割分化、集団規範への同調と逸脱、集団での意志決定、集団の生産性、リーダーシップなどの諸問題を研究対象とする。この授業では、グループ・ダイナミクスに関する様々な領域の研究知見について日常的な集団経験と照らし合わせながら、わかりやすく解説する。

集団研究の方法、知識を身につけると共に、集団における人間の心理について理解を深め、教育組織、企業組織など実際の集団や組織にいかに応用できるかという実践的な観点も持てるようになることを目標とする。

内容

グループ・ダイナミクスの主要な研究領域について講義形式で解説する。また講義内容と関連のある模擬的実験や心理尺度なども実施する予定である。以下の内容を予定。

- (1) 集団とは何か
- (2) 集団の形成過程
- (3) 集団の構造
- (4) 集団規範
- (5) リーダーシップ
- (6) 集団意思決定
- (7) 集団と個人
- (8) まとめ

評価

期末テスト80%+授業内の課題20%とし、総合評価60点以上を合格とする

成績をもってフィードバックとする

授業外学習

- 【事前予習】次に取り上げる内容について書籍、検索などを使って自分で調べてくる
- 【事後学修】学習内容についてノートを整理し、復習する

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	産業・組織心理学		
担当教員名	高口 央		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会心理学などの知見をもとに、産業場面、組織場面での人の心理、行動について扱う応用領域の心理学である。

科目の概要

本科目では、仕事におけるモチベーション、職場における人間関係と意思決定、リーダーシップ、職場のストレスなどを扱う。社会心理学など、様々な心理学の領域における研究成果に基づいて産業活動における諸現象について講義を行う。

学修目標(=到達目標)

さまざまな心理学の知識を、産業、組織、働くという場面にどのように応用可能かを考えながら、産業・組織心理学について理解を深めることを目標とする。

内容	
1	産業・組織心理学とは何か? - ガイダンス -
2	ホーソン研究: 物理的環境か心理的要因か
3	作業に関わる心理学: 社会的手抜きと補償
4	仕事への動機づけ研究1: KJ法について
5	仕事への動機づけ研究2: 欲求階層・ERG理論
6	仕事への動機づけ研究3: 内発的動機・外発的動機
7	公正感と自発的行動
8	組織コミットメントと役割外行動(組織市民行動)
9	組織の中でのコミュニケーション: 集団分極化
10	対人葛藤: プラスの効果・バーンアウト
11	リーダーシップ1: 偉人論・特性論
12	リーダーシップ2: PM理論・ライフサイクル理論
13	上司と部下の関係構築: 投資モデルの援用
14	職場での行動の獲得・学習: PDCAサイクル
15	まとめ

評価

小テストあるいはミニレポート(計50点)、期末試験(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。出席が2/3に満たない場合、単位は取得できない。

【フィードバック】期末試験については、講義の成績評価をもって代える。授業時に求めるアクション・プラン・レポートについては、代表的な意見や興味深い指摘をとりあげ、授業の中で返答する。

授業外学習

【事前準備】各回の授業予定内容について、推薦図書などの資料を調べ予習に取り組む。

【事後学修】学習内容についてノートを整理し復習する。小テストを行うこともある。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

指定しない。必要に応じて授業時に資料を配布する。

【推薦書】

山口裕幸/金井篤子(編)・「よくわかる産業・組織心理学」・ミネルヴァ書房

田尾雅夫(編)・「組織行動の社会心理学」・北大路書房

小口孝司/楠見孝/今井芳昭(編)・「仕事のスキル」・北大路書房

原マサヒコ・「トヨタのPDCA」・あさ出版

科目名	キャリア心理学		
担当教員名	杉本 英晴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間発達心理学科の選択専門科目である。発達心理学概論、青年期の心理学、社会心理学概論などを基礎とする応用科目である。職業興味や適性検査なども実施するため心理検査法とも関連する。

キャリアとは、職業人や家庭人、地域社会の一員など様々な役割を果たす過程の中で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ねである。そのため、キャリアについて考える際、単純にどのような仕事の経歴があるかということだけでなく、たとえば、ある仕事に就くまでに、そして仕事についての職業活動を通して、また、家庭を築くまでに、そして仕事と家庭の両立を通して、自身や関係性をどのように発達させていくかという心理的な側面が多分に含まれている。そこでキャリア心理学は、私たちがどうやって職業を選択しどうやって職業人となっていくのか、働くことの意味は何か、ワークライフバランスを保つためにはどうすればよいのかなどの社会的な問題を考える。本講ではキャリアに関わる心理学的知見についてわかりやすく解説するとともに、自己分析や適性検査など必要に応じて実践的な内容も取り入れながら授業を進めていく。

これまで学んできた心理学の知識をキャリアという領域に応用しながら、キャリア心理学について理解を深めることを目標とする。またそれだけでなく、就職を目前に控えた受講生にとって自身の職業選択や職業生活、家庭生活のイメージを具体化する契機となることもあわせて目標とする。

内容

基本的には講義形式での授業を行うが、個人ワークやグループワークを通しての自己理解や職業理解も取り入れる。

1	キャリアとは何か
2	キャリア発達の理論
3	ライフ・キャリア・レインボー
4	進路の意思決定プロセス
5	自身のキャリアに対する関心
6	現代の就職活動
7	進路意思決定と自己効力感
8	働くことの価値観
9	計画された偶発性理論
10	職業興味
11	職業とアイデンティティ
12	ワーク・モチベーション
13	ワーク・ライフ・バランス
14	現代のキャリアにおける社会的問題
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、授業内レポート・課題20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次の授業でとりあげる用語について調べて予習をする

【事後学修】授業内容を自分なりにA4ノート2ページ以内にまとめ直す

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	消費行動の心理学		
担当教員名	高口 央		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、社会心理学などの知見をもとに、消費場面での人の心理、行動について扱う応用領域の心理学である。

科目の概要

なぜ人々はブランド物を選ぶのか、どのようにすれば購買や消費を促進できるのか、どのような広告が効果的かなどが消費行動の心理学として扱われてきたテーマである。本科目では、隣接学問分野にも配慮しつつ、社会心理学的手法を用いて明らかにされてきた研究を紹介し、消費行動を科学的に理解することを目的とする。

学修目標 (= 到達目標)

さまざまな心理学の知識を、消費行動という場面にどのように応用可能かを考えながら、理解を深めることを目標とする。

内容	
1	消費行動の心理学とは - ガイダンス -
2	消費行動のプロセス
3	店舗内の消費行動(計画購買と非計画購買)
4	店舗内の消費行動(計画購買と非計画購買)
5	消費者の知覚(価格判断のプロセス)
6	消費者の知覚(価格判断のプロセス)
7	消費者の知覚(価格判断のプロセス)
8	ライフスタイルの違いと消費行動
9	口コミと購買意思決定
10	インターネットを通じたコミュニケーションと購買意思決定
11	マーケティングにおける販売活動
12	販売の訴求テクニック・広告活動
13	販売の訴求テクニック・広告活動
14	地域性を考慮した広告の効果
15	まとめ

評価

小テストあるいはミニレポート(計50点)、期末試験(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。出席が2/3に満たない場合、単位は取得できない。

【フィードバック】期末試験については、講義の成績評価をもって代える。授業時に求めるリアクシヨナルレポートについては、代表的な意見や興味深い指摘をとりあげ、授業の中で返答する。

授業外学習

- 【事前準備】各回の授業予定内容について、推薦図書などの資料を調べ予習に取り組む。
- 【事後学修】学習内容についてノート資料を整理し復習する。小テストを行うこともある。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】指定しない。必要に応じて授業時に資料を配付する。
- 【推薦書】竹村和久(編)「消費行動の社会心理学」北大路書房
杉本徹雄「マーケティングと広告の心理学」朝倉書店

科目名	職場のメンタルヘルス		
担当教員名	深瀬 砂織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

労働者のストレス、メンタルヘルスに関する内容である。

「健康心理学」や「産業・組織心理学」との関連が強い。

科目の概要

労働者を取り巻く社会の現状、ストレスが心身に及ぼす影響、ストレスとの付き合い方について学ぶ。受講生のうち希望者は「メンタルヘルス・マネジメント検定 種」を受検することができる。

学修目標（＝到達目標）

- ・労働者を取り巻く現状、ストレスやメンタルヘルスについての基本を学ぶ。
- ・ストレス・マネジメントを日常生活で役立てる基礎をつくる。
- ・メンタルヘルス・マネジメント検定 種受験希望者はその合格を目指す。

内容

1	オリエンテーション/労働者のストレスの現状
2	ストレスの基礎知識/産業界におけるストレス
3	メンタルヘルスの基礎知識、ストレス関連疾患
4	過重労働と健康
5	不調のリスク要因、ストレスにより現れる心身の反応
6	ストレスの軽減方法（睡眠、食事、呼吸法）
7	ソーシャル・サポート/ストレス・コーピング
8	自発的な相談の有用性
9	活用できる資源、相談機関、医療機関
10	治療について/労働者にとって身近な法律、指針
11	復習（過去の検定問題と解説）
12	復習（過去の検定問題と解説）
13	復習（過去の検定問題と解説）
14	復習（過去の検定問題と解説）
15	まとめ

評価

各回のレポート提出が20点、期末テストが80点で、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】授業で扱うテキストの該当ページをよく読んでくること。

【事後学修】その回の内容をテキストで確認すること、および過去問題を何度も解くこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】・大阪商工会議所編「メンタルヘルス・マネジメント検定試験 公式テキスト 種セルフケアコース（第3版）」 中央経済社

・春日未歩子 著「メンタルヘルス・マネジメント検定試験 公式テキスト 種セルフケアコース 過去問題集（2016年度版）」 中央経済社

科目名	認知心理学		
担当教員名	池田 まさみ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

心理専門科目における選択必修のひとつである。「心理学概論」での理解を踏まえて、本科目を履修する必要がある。

科目の概要

人間は五感を通して外界の情報を受け取り、その情報を脳で処理することにより、何らかの反応や行動に至っている。本講義では、その情報処理のプロセス（人間の記憶や注意、思考などの認知機能）について、心理学的なモデルや理論を平易に解説する。授業では映像や簡易実験などを用いて、体験的に理解を深めると同時に、科学的視点を養うことを目指す。

学修目標（＝到達目標）

評価基準となる学習到達目標は、

- 1) 認知心理学の基礎となるモデルや理論について、日常的な行動との対応を説明できるようになること
- 2) 実証的な認知心理学研究法を理解すること

学生は自身の卒業研究におけるデザイン（研究方法、実験計画）なども意識しながら学んでほしい。

内容

- 1 ガイダンス
- 2 認知の神経的基盤
- 3 視覚の神経的基盤
- 4 視覚パターン認知 - 視覚の初期・中期過程
- 5 視覚パターン認知 - 視覚の後期過程
- 6 認知心理学研究法
- 7 注意 - 選択的注意
- 8 注意 - 注意と記憶
- 9 記憶と学習 - 記憶の構造と理論
- 10 記憶と学習 - 記憶のプロセス
- 11 知識表現 - 意味ベースの知識表現
- 12 知識表現 - 知覚ベースの知識表現
- 13 思考と言語 - 演繹的推論
- 14 思考と言語 - 帰納的推論
- 15 まとめ

評価

中間試験（2回、計50点）、期末試験50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に指示した課題（調べもの、配布プリントを読むなど）に取り組む。

【事後学修】確認テストなどを通して、自分自身の理解に対する「ふりかえり」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント資料を使用する。参考図書・推薦図書と併せて、授業時に適宜図書を紹介する。

科目名	身体運動の心理学		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

心理学科の選択科目である。

心や意識，記憶や性格は箱に入って固定されている訳ではなく，

身体運動による環境との相互作用から立ち上がるダイナミックな現象であることを感じ取ってほしい。

「こころだって，からだ」なのである。

科目の概要

毎週1つのトピックについて，実習を交えながら講義を進める。

毎回，授業後に短いエッセイの提出を求める。

次の授業では優れたエッセイを紹介し，復習と更なる学びの材料とする。

学修目標

身体と心，脳に関する話題を概観しながら，人間を観る眼をより柔軟にしたい。

心について深く考えるには，身体運動の基礎知識が不可欠である。

1)身体が動く仕組み（筋骨格系から脳までの機能と構造），2)運動制御と運動学習の仕組み，3)身体運動と心理学との関わりを学び，改めて人間を見直し，心の多様さについて考える。

内容

進度に応じて新たな話題を盛り込むが，昨年度の授業内容とキーワードは以下の通り：

- 1.イントロダクション：こころだってからだです。こころを理解するために身体に注目すべき理由
- 2.身体の構造と歴史：筋肉のつき方，股関節の理解，二足歩行の進化学
- 3.ヒトの心の進化その1：直立二足歩行，言語能力，道具の製作・使用，火の使用
- 4.ヒトの心の進化その2：大きな脳，文化
- 5.骨格系の基礎と成長：胸鎖関節，体軸，骨の代謝，関節，アロメトリック/アイソトリックな成長
- 6.筋肉系の基礎と重力：無重力や加齢による筋萎縮，運動単位，伸長性/収縮性収縮，主動筋と拮抗筋
- 7.日常生活における身体のサイエンス：遅筋と速筋，カロリーの摂取と消費，METSとエクササイズ，NEAT
- 8.身体と脳のつながり方 心のクセ：感覚/運動ホムンクルス，遠心コピー，ニューロン
- 9.神経ネットワークのシミュレーション実習：ニューラルネットでおやつ代計算
- 10.動機づけと心構え：外/内発的動機づけ，原因帰属，やる気を伸ばす褒め方
- 11.運動学習：記憶の分類，文脈干渉効果，文脈干渉効果，閉鎖/開放技能
- 12.運動と発達：基本運動の発達と学習（歩く，投げる，走る），運動能力と運動指導
- 13.利他行為と身体：身体が心を動かす
- 14.ゲスト講師に伺う女性の身体と環境
- 15.まとめ

内容の詳細は現在作成中であるので、上の講義内容はあくまで「昨年実績」に過ぎない。

純粋な講義でなく、簡単な実験や演習を折り込みながら授業を進める。各講義の後に簡単なエッセイを課すので、講義内容について積極的に考え、自分なりの考えをまとめることを求める。優れたエッセイは次回授業で紹介し、討議の材料にする。

評価

毎回の授業で短いエッセイの提出を求める。エッセイ50%と筆記試験50%を評価の対象とし、合計で60%以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回講義での優れたエッセイを載せたプリントを事前に配布するので、それを精読し、理解や考えを深めておく

【事後学修】講義を通じて1)理解できたこと、2)理解できなかったことや疑問、を箇条書きにして要点を整理する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】

ジャービス著，工藤和俊・平田智秋訳「スポーツ心理学入門」新曜社

その他の推薦図書については、授業の中で随時紹介する

科目名	健康心理学		
担当教員名	中村 有		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

健康心理学は、他の心理学から独立した雰囲気を持っています。しかし、「基礎心理学（学習理論）」を活用する点では他の応用心理学と変わりません。「臨床心理学」と同様の病を扱いながら違う手法を用いる点に注目してください。

科目の概要：

「健康心理学とは健康の維持・増進、疾病の予防・治療、健康・疾病・機能不全に関する原因・診断の究明、およびヘルスケア・システム（健康管理組織）・健康政策策定の分析と改善に対する心理学領域の特定の教育的・科学的・専門的貢献のすべてをいう」、この一読すると難解で複雑でと感じる学問は、一方では「ポジティブ心理学」と呼ばれます。「人のこのような悪い部分がうつ病を招く」ではなく「人はこのような良い部分があるからうつ病を防げる」という考え方が特徴です。

学修目標：

- 1) 「人は、潜在能力・治癒力・成長力があると信じる」という立場を理解する。
- 2) 上記1)を踏まえ、人の心身に隠れている素敵な部分を活かしてより良い存在へ成長させていく方法を習得する。
- 3) 日常生活の中で健康心理学を活かし、自他が抱える様々な難関・苦難をクリアできるようなポイントを見いだせる。

内容

講義は「健康心理学」という興味深い学問を初めて学ぶことになる皆さんに習得してもらうため、まず基礎的な考え方や理論を学んで貰います。その後、講義が深まるうちに「健康心理学」らしい非常に実践的な技法を学びます。

この内容は、学びが深まるにつれて理論と技術を一体に学ぶことができるようになっていきます。そんな風に講義が一連になっていますので、可能な限り全ての回に出席して下さい。

1	はじめに	ガイダンス
2	健康心理学の意義	「健康」と、それを「心理学」する意義を考える
3	健康心理学と臨床心理学	健康心理学を支える科学的な理論・技法と、臨床心理学の差異
4	健康心理学の各論	ストレスは、向き合えて、怖い存在ではなく対応できるもの
5	健康心理学の各論	ストレスとの向き合い方、解消・緩和・乗り越える方法
6	健康心理学の各論	人格（性格）とは何だったか
7	健康心理学の各論	人格（性格）と健康との関係、その理解を深める
8	病気を考える	生活習慣病（ライフスタイル）
9	病気を考える	心身症
10	病気を考える	こどもからおとなまで
11	健康を考える	予防と促進
12	健康を考える	心理教育の重要性
13	健康心理学の技法	心理アセスメント（人の健康を把握・理解する方法）
14	健康心理学の技法	心理的サポート（人の健康を支える・改善する方法）
15	まとめ	

評価

平常点(通常講義内に行われるレポート)を30点、筆記試験(期末試験)を70点、で総合評価60点以上が合格となります。満たない場合は再試験を、公欠・忌引き・交通機関の遅延運休等の場合は追試験を実施します。

授業外学習

【事前予習】テキストに目を通し、当該週の学習ポイントを確認しておく。

【事後学修】板書・プリント・テキストの内容を統合し、学習内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 小林芳郎 編著『健康のための心理学』2006 保育出版社

【推薦書】 森 和代・石川利江・茂木俊彦 編『よくわかる健康心理学』2012 ミネルヴァ書房

【参考図書】 日本健康心理学会 編『健康心理学概論』2002 実務教育出版

科目名	生徒指導		
担当教員名	柏葉 修治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、人間発達心理学科生の教職科目の1つで、必修科目である。

科目の概要

生徒指導の意義・目的、課題、内容、方法等について、理解を深めることを目的とする。

学修目標 (= 到達目標)

この授業を通じて、教師として行うべき生徒指導について、その意味、意義・重要性、指導内容、教育課程との関連性が深まり、指導の組織と計画、生徒理解の方法、進路指導等についての実践力が身につく。そのためにも、毎回、授業に出席し、しっかりと授業に積極的にかつ真剣に取り組むことが大切である。

内容

1	1.はじめに (生徒指導の意義と課題)
2	2 . 教育課程における生徒指導の位置づけ、生徒指導の前提となる発達観と指導観
3	3 . 集団指導・個別指導の方法原理、学校運営と生徒指導
4	4 . 教育課程と生徒指導
5	5 . 児童生徒の心理と児童生徒理解
6	6 . 学校における生徒指導体制
7	7 . 生徒指導における教職員の役割、基本的な生活習慣の確立
8	8 . 児童生徒の安全に関わる問題、いじめ問題への対応
9	9 . 問題行動の早期発見と効果的な指導、発達に関する課題と対応、不登校生徒への対応方法
10	1 0 . 問題行動の対処や命の教育の実践方法 (とくにいじめ問題に対する取り組みの方法)
11	1 1 . 生徒指導に関する法制度等
12	1 2 . 地域社会における児童生徒
13	1 3 . 学校を中心とした過程・地域・関係機関等との連携
14	1 4 . 社会の形成者としての資質の涵養に向けて
15	まとめ

評価

授業中に課す課題への取り組みに対する授業態度 (1 5 %)、レポート (1 5 %)、筆記試験 (7 0 %)、さらに2 / 3以上出席を必須条件とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】基本的には使用テキストを活用した授業であるが、1時間以上はそのテキストを事前に読み込んでおくこと。

【事後学修】授業で扱った箇所を重点的に1時間以上は復習することが望ましい。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】「生徒指導提要」平成22年3月 文部科学省

【推薦書】「現場で役立つ生徒指導実践プログラム」新井肇 編著 学事出版

【参考図書】教室で紹介する

科目名	教育相談		
担当教員名	伊藤 明芳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

教師や心理臨床家は教育現場における子どもや保護者のさまざまな問題や悩みへの対応を求められる。これらの問題等に対して適切な理解と対応ができるように、相談の方法等を具体的かつ実践的に学び、相談を受けるための人間形成についても考える。

科目の概要

教育相談は、教師や心理臨床家が相談者に対して、家庭や学校における子どもの教育上の問題について、その望ましい解決に向けて助言や援助指導をおこなう実践活動である。本講義では、教育相談の基礎的知識の習得と現場で生きる教育相談の実践的能力の育成を図る。

学修目標 (= 到達目標)

- ・教育相談の理論、方法等の基本の習得。
- ・学んだ知識を相談実践にどのように生かすことができるのか、自ら考えられるようになること。
- ・教師・心理臨床家として、相談者の心に寄り添う教育相談の実践をおこなう心を養うこと。

内容

講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、ロールプレイ等も取り入れ、相談やカウンセリング等の体験的な学習もおこないたい。相談を受けて人に関わる時、教師や心理臨床家には人間のかつ専門的な総合力が必要になる。そこで、受講者には積極的に授業に参加し、自ら学び考える意欲を持つことが求められる。

1	1. イントロダクション 教育相談とは何か
2	事例研究 [相談者の心に寄り添う]
3	2. 教育相談の基本 ロールプレイ
4	事例研究 [登校渋り・不登校]
5	教育相談の考え方 / 方法 / 構造等
6	教育相談の過程 (プロセス)
7	教育相談の終結 / 連携等
8	心理アセスメント / 相談技法
9	3. 教育相談の応用 事例研究 [保護者の価値観]
10	カウンセリング理論の活用
11	事例研究 [配慮を要する子ども]
12	子どもの理解と対応への工夫
13	4. 教育相談の展開 教師の心の健康を育む
14	他者・他機関との連携・協働等
15	まとめと今後へのアドバイス

評価

レポート課題等の平常点の評価30%、試験70%により評価をおこない、総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合は、再試験をおこなう。

授業外学習

【事前準備】予告した次回の講義内容について、受講生が自分なりに素手で考えて来ること。

【事後学修】学習した知識の定着をおこない、学んだことを実際の場面でどう活かすか考えること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蓮見元子(編)『生涯発達臨床心理学 心理・保育・教育・医療からの支援』大学図書出版 2017

【推薦書】菅野純『教師のためのカウンセリングワークブック』金子書房 2001

【参考図書】講義の中で必要に応じて適宜紹介する

科目名	子どもの生活支援		
担当教員名	鈴木 雅子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間発達心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置付けられた選択科目である。

科目の概要

本講義は、子どもの健康を守る生活や環境について、乳幼児期から児童期に分けて段階的に学ぶ。

この講義を受講することで、妊娠時から子どもの健康を守る視点を持ち、子どもの成長発達に伴う身体的特徴や病気・事故の予防のための手立てや対策、罹りやすい病気や症状に対するケアについて習得することができる。

学修目標 (= 到達目標)

- ・乳幼児期から児童期までの発育・発達について理解できる。
- ・基本的な子育ての技術を習得できる。
- ・子どもが健康に成長できる環境について考えることができる。
- ・子どもの病気や事故について理解し、対応ができる。

内容

本講義では、実技実習があるため受講生が多数の場合は、受講人数を制限 (50名以内) します。

1	オリエンテーション、子どもの生活と保健とは
2	乳幼児期の成長発達 (身体的機能)
3	乳幼児期の成長発達 (神経学的機能)
4	乳児の成長発達と栄養 (調乳)
5	乳児の成長発達と栄養 (離乳食)
6	乳児の成長発達と生活 (抱っこ・衣服・排泄)
7	乳児の成長発達と生活 (沐浴実習)
8	乳児の成長発達と生活 (沐浴実習)
9	沐浴実習後グループワーク
10	妊娠・出産・育児を取り巻く環境
11	児童期の成長発達
12	学童期に多い病気と怪我
13	幼児学童期の事故防止
14	幼児学童期の応急処置
15	保健サービスとその活用、まとめ

評価

グループワーク等を行うので積極的に参加し意欲的に取り組むこと。講義への参加状況20%、レポート80%とし、総合

評価60点以上を合格とする。【フィードバック】提出されたレポート類はコメントを記載し翌週以降の授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】次週の内容について経験をふまえて考えておくこと。

【事後学修】授業で得た知識をふまえて疑問点を調べたり、考察を深めたりすること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない 適宜プリントを配布する

【推薦書】大西文子編著「子どもの保健演習」中山書店

科目名	健康相談活動		
担当教員名	齋藤 千景		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

子どもの健康問題に関して、医学的な知識をもとに発達心理学で学んだ知識・技能も活用しながら心身の問題に対して、的確なアセスメントや対応ができるための知識と技能を学ぶ。

科目の概要

「学校保健」「養護概説」で学んだ健康相談に関する答申や法律、養護教諭の職務の特質、健康相談のプロセス等を再度確認する。その上で養護教諭として子どもの行動や健康状態に対する観察やアセスメントの視点、対応方法を演習を取り入れながら学習する。さらに、学級担任や保護者との連携方法も演習を取り入れながら具体的に学習をする。

学修目標（＝到達目標）

健康相談の基本的なプロセスを理解し、各事例に応じて子どもの行動や健康状態に対する観察やアセスメントができ、その対応方法を考えることができる。

内容	
1	健康相談の重要性と法的根拠
2	学校における健康相談の基本的理解
3	発達段階別心身の健康問題の特徴と理解 1
4	発達段階別心身の健康問題の特徴と理解 2
5	健康相談における養護教諭、学級担任、学校医等の役割
6	健康相談のプロセス 1
7	健康相談のプロセス 2
8	健康相談における基本的な技術及び留意点
9	役割演技による相談の実際 1
10	役割演技による相談の実際 2
11	役割演技による相談の実際 3
12	役割演技による相談の実際 4
13	学校における健康相談の進め方と支援体制づくり
14	事例検討会の手順と方法
15	まとめ

評価

筆記試験7割、演習に対する取り組み態度を3割として総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は再試

験を実施する。

授業外学習

【事前予習】2年次までに取得している「養護概説」の健康相談に関する内容をまとめておくこと。

【事後学修】関連科目とのつながりも含めて、授業で学んだことをまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】[新養護概説] 采女智津江他 少年写真新聞社

【参考図書】「教職員のために子どもの健康相談及び保健指導の手引」 文部科学省 平成23年

科目名	看護学概論		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：

人間発達心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置づけられており、養護教諭免許取得のために定められた養護に関する科目の必修科目となっている。この科目の単位を修得しておかないと「養護実習」には臨むことはできない。また、社会福祉主事任用資格取得に関連している科目でもある。

科目の概要：

看護の対象は、さまざまな環境の中で生活をしている人間である。看護では、対象の健康の回復あるいは増進をはかり、対象の欲求を充足することをめざす。ここでは、人間の健康と生活を理解し、人間が本来持っている自然治癒力の向上を目指すために、根拠に基づいた看護実践の基礎となる理論および看護の視点を学び、看護援助の基礎的知識を学習する。

学修目標：

- 1．看護の本質が理解でき、看護における安全安楽の意味が説明できる。
- 2．看護における観察の意味がわかる。
- 3．日常生活において、人間のニード充足のための看護援助が理解できる。
- 4．体調の不調を訴えた際の基本的な看護援助が説明できる。

内容

* 後期に「看護援助方法」の履修を予定している学生は、本科目単位を修得しておかないと、「看護援助方法」は履修できません。

1	看護の本質と看護の対象
2	人間の尊厳と健康
3	疾病予防と看護
4	看護における観察
5	日常生活における看護 安楽と環境調整と睡眠・休息
6	日常生活における看護 栄養・食事と排泄
7	日常生活における看護 身体の清潔保持
8	看護学概論（総論）のまとめ
9	不調を訴えた人への看護 電法
10	不調を訴えた人への看護 発熱、痰・咳、呼吸困難のある人への看護
11	不調を訴えた人への看護 嘔気嘔吐、排便障害、脱水のある人への看護
12	不調を訴えた人への看護 浮腫、腫脹、褥瘡、発疹のある人への看護
13	不調を訴えた人への看護 めまい、疼痛のある人への看護
14	不調を訴えた人への看護 熱中症、アナフィラキシーの人への看護
15	看護学概論（各論）のまとめ

評価

授業への参加貢献（10点）、筆記試験（90点）により評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に、各單元ごとに教科書を読んでおいて下さい。健康に関するTV番組を見るようにして下さい。

【事後学修】各單元ごとに教科書・配布資料をまとめたノート等を作って下さい。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】萱場一則編著 『暮らしの看護』建帛社

【推薦書】坪井良子・松田たみ子編 『考える基礎看護技術 看護技術の基本』ニューヴェルヒロカワ

坪井良子・松田たみ子編 『考える基礎看護技術 看護技術の実際』ニューヴェルヒロカワ

薄井坦子著 『科学的看護論』日本看護協会出版会

【参考図書】V.Henderson著 湯楨ます・小玉香津子訳 『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

科目名	看護援助方法		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

人間発達心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置づけられており、養護教諭免許取得のために定められた養護に関する科目の必修科目となっている。この科目の単位を修得しておかないと「養護実習」には臨むことはできない。

科目の概要：

看護実践の基盤となる基本技術の方法と根拠となる知識を学ぶ。看護の対象である人間が置かれている状況を正しく把握し、適切な看護が実践できる基本的な看護技術、及び、感染防御や苦痛軽減のための技術を学ぶ。特に、養護教諭として学校現場で求められる基本的看護援助技術に重点をあてて学習する。講義と合わせて実習も行い技術の習得を目指す。

学修目標：

1. バイタルサインの意味が理解でき、正確に測定ができる。
2. フィジカルアセスメントが適切に行える。
3. 感染防御の基礎について説明できる。
4. 急性期の症状のある人の看護過程が展開できる。

内容

講義のみではなく実習も行い、技術の習得を目指す。

「看護学概論」の単位を修得していない学生は、この科目は履修できません。

1	看護技術とは
2	バイタルサイン (呼吸・脈拍・血圧)
3	バイタルサイン (体温・意識)
4	バイタルサイン (測定実習)
5	フィジカルアセスメント (総論)
6	フィジカルアセスメントと看護 (各論：頭部・頸部・顔面・目・鼻・口腔)
7	フィジカルアセスメントと看護 (各論：胸部・腹部・四肢・脳神経)
8	感染防御 (基礎知識)
9	感染防御 (滅菌消毒方法)
10	感染防御 (消毒薬の用途)
11	感染防御 (嘔吐物の処理実習)
12	看護過程とSOAP
13	多様な急性期症状のアセスメント
14	搬送と救急時の対応
15	看護援助方法のまとめ

評価

授業・実習への参加状況（10%）、レポート（10%）、筆記試験（80%）により評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前期の「看護学概論」と比べると、より専門的になります。教科書をよく読んでから、授業に参加すること。

【事後学修】教科書・配布された資料をまとめたノートを作成しましょう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】岡田加奈子他編著『養護教諭・看護師・保健師のための学校看護-学校環境と身体的支援を中心に』 東山書房
「看護学概論」で使用した教科書も併せて使用する

【推薦書】山内豊明監修『保健室で役立つステップアップ フィジカルアセスメント』東山書房
日野原重明監修『バイタルサインの見方・読み方』 照林社

【参考図書】江口正信他著『根拠から学ぶ基礎看護技術』 医学芸術社
植木純・宮脇美保子『看護に生かすフィジカルアセスメント』 照林社

科目名	看護援助方法		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

人間発達心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置づけられており、養護教諭免許取得のために定められた養護に関する科目の必修科目となっている。この科目の単位を修得しておかないと「養護実習」には臨むことはできない。

科目の概要：

看護実践の基盤となる基本技術の方法と根拠となる知識を学ぶ。看護の対象である人間が置かれている状況を正しく把握し、適切な看護が実践できる基本的な看護技術、及び、感染防御や苦痛軽減のための技術を学ぶ。特に、養護教諭として学校現場で求められる基本的看護援助技術に重点をあてて学習する。講義と合わせて実習も行い技術の習得を目指す。

学修目標：

1. バイタルサインの意味が理解でき、正確に測定ができる。
2. フィジカルアセスメントが適切に行える。
3. 感染防御の基礎について説明できる。
4. 急性期の症状のある人の看護過程が展開できる。

内容

講義のみではなく実習も行い、技術の習得を目指す。

「看護学概論」の単位を修得していない学生は、この科目は履修できません。

1	看護技術とは
2	バイタルサイン (呼吸・脈拍・血圧)
3	バイタルサイン (体温・意識)
4	バイタルサイン (測定実習)
5	フィジカルアセスメント (総論)
6	フィジカルアセスメントと看護 (各論：頭部・頸部・顔面・目・鼻・口腔)
7	フィジカルアセスメントと看護 (各論：胸部・腹部・四肢・脳神経)
8	感染防御 (基礎知識)
9	感染防御 (滅菌消毒方法)
10	感染防御 (消毒薬の用途)
11	感染防御 (嘔吐物の処理実習)
12	看護過程とSOAP
13	多様な急性期症状のアセスメント
14	搬送と救急時の対応
15	看護援助方法のまとめ

評価

授業・実習への参加状況（10%）、レポート（10%）、筆記試験（80%）により評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前期の「看護学概論」と比べると、より専門的になります。教科書をよく読んでから、授業に参加すること。

【事後学修】教科書・配布された資料をまとめたノートを作成しましょう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】岡田加奈子他編著『養護教諭・看護師・保健師のための学校看護-学校環境と身体的支援を中心に』 東山書房
「看護学概論」で使用した教科書も併せて使用する

【推薦書】山内豊明監修『保健室で役立つステップアップ フィジカルアセスメント』東山書房
日野原重明監修『バイタルサインの見方・読み方』 照林社

【参考図書】江口正信他著『根拠から学ぶ基礎看護技術』 医学芸術社
植木純・宮脇美保子『看護に生かすフィジカルアセスメント』 照林社

科目名	小児保健看護学		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 :

人間発達心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置づけられており、養護教諭免許取得のために定められた養護に関する科目の必修科目となっている。この科目の単位を修得しておかないと「養護実習」には臨むことはできない。

科目の概要 :

子どもの看護として、ここでは特に、学童・思春期の子どもの健康問題に重点を置き、特徴的な感染症や慢性疾患を取り上げ、それらの病態生理や子どもの心理、看護援助を学習する。これらの学習を通じて、体調不良を訴えてくる子どもの支援や慢性疾患や障がいを持って学校に通学している子どもの支援について実践できる能力を養う。

学修目標 :

1. 学校感染症の特徴と看護について説明できる。
2. 子どもの主なアレルギー疾患の特徴と看護について説明できる。
3. 子どもの主な慢性疾患の病態と看護について説明できる。

内容

1	子どもの身体の解剖生理 (筋骨格・目・耳・歯)
2	子どもの身体の解剖生理 (内臓の生理機能)
3	子どもの健康状態の把握
4	学校感染症 (第 1 種)
5	学校感染症 (第 2 種)
6	学校感染症 (第 3 種)
7	子どものアレルギー疾患 (気管支喘息、アトピー性皮膚炎)
8	子どものアレルギー疾患 (食物アレルギー、アナフィラキシーショック)
9	子どもの腎疾患 (糸球体腎炎・尿路感染症)
10	子どもの腎疾患 (ネフローゼ症候群・尿検査)
11	子どもの心疾患 (先天性心疾患)
12	子どもの心疾患 (川崎病・不整脈と心電図)
13	子どもの糖尿病と肥満
14	子どもの脳神経系の疾患
15	小児保健看護学のまとめ

評価

授業に対する意欲・関心 (10%) 及び、3 回の筆記試験 (90%) により総合的に評価し、60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】解剖生理学を復習し、単元ごとに教科書を読んでから授業に臨んで下さい。また授業の中で指定した資料については、各自でインストールし、印刷し持参すること。

【事後学修】配布資料と教科書等をまとめたノート作りをして下さい。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加藤忠明・西牧謙吾・原田正平編著 『すぐに役立つ小児慢性疾患支援マニュアル』 東京書籍
「看護援助方法」で使用した教科書も使う

【推薦書】鴨下重彦・柳澤正義 『こどもの病気の地図帳』 講談社 493.9/K
満留昭久 『学校の先生にも知ってほしい慢性疾患の子どもの学校生活』 慶應義塾大学出版会

【参考図書】村田光範・浅井利夫編 『小児疾患生活指導マニュアル』 南江堂
坂井建雄・橋本尚詞 『ぜんぶわかる人体解剖図』 成美堂出版

科目名	臨床看護実習		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 :

心理学科専門科目の教育・保健科目領域に位置づけられており、養護教諭免許取得のために定められた養護に関する科目の必修科目となっている。

科目の概要 :

学内での講義・ロールプレイと学外での臨床講義によって展開する。ここでは、看護の視点で子どもの健康保持のために養護教諭として適切な判断と対応ができるための基礎的能力を培う。

学修目標 :

1. 感染管理に関して、学校現場にあてはめた場合、どのように取り扱うことがよいか考え、適切な対処や行動をとることができる。
2. 慢性疾患や障がいのある子ども達を地域の学校 (特別支援学校を含む) で受け入れる際に、適切な援助が理解でき、対処・行動することができる。
3. 身体不調や異常を訴える子ども達に対して、症状を見極める能力を身に付け、適切な看護ケアが実施できる。
4. 命や性の教育について、考えることができる。

内容

養護教諭免許取得を本気で目指している学生で、かつ、「看護学概論」「看護援助方法」「小児保健看護学」「解剖生理学」の単位を修得している学生を対象とする。

1	ヘルスアセスメントと救急処置のプロセス
2	外科系疾患の重症度の見極めと対応
3	内科系疾患の重症度の見極めと対応
4	スポーツ障害
5	創傷保護と包帯法技術実習
6	身体不調や異常を訴える子どもへのフィジカルアセスメントと対応
7	身体不調や異常を訴える子どもの看護ロールプレイ (発熱・頭痛・倦怠感)
8	身体不調や異常を訴える子どもの看護ロールプレイ (腹痛・嘔気嘔吐・呼吸困難)
9	身体不調や異常を訴える子どもの看護ロールプレイ (掻痒感・外傷・打撲)
10	身体不調や異常を訴える子どもの看護ロールプレイ (意識障害・けいれん・不定愁訴)
11	臨床講義 (病院の機能と役割、他職種との連携と機能、病院における感染管理の実際)
12	臨床講義 (小児救急看護の実際)
13	臨床講義 (慢性疾患および障害のある子どもへの看護、病院と学校との連携)
14	臨床講義 (生命と性の教育)
15	臨床看護実習まとめ

評価

筆記試験（30%）、授業・演習の参加状況（30%）およびレポート（40%）により総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】これまでの授業の総括になるため、今まで学習してきたものを復習しておくように。

【事後学修】実技で体験したこと等は、何度も繰り返し練習し、身につけるようにする。臨床講義で学習したことは、学校現場でどのように活かせるのか考察する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】「看護援助方法」「小児保健看護学」「解剖生理学」等で使用したテキストを準備しておくこと。他にも、授業の中で提示していく。

【推薦書】衛藤隆他編 『最新Q & A教師のための救急百科』 大修館書店

加藤英治 『症状で見る子どものプライマリ・ケア』 医学書院

大谷尚子他編著 『養護教諭のためのフィジカルアセスメント見て学ぶ応急処置の基礎基本』 日本

小児医事出版

【参考図書】鴨下重彦・柳澤正義 『こどもの病気の地図帳』 講談社 493.9/K

科目名	卒業研究		
担当教員名	池田 まさみ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を決める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、研究テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	石田 有理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

- 1．科学的思考に基づいた研究展開ができる。
- 2．自己の研究のオリジナリティが説明できる。
- 3．研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	伊藤 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学術論文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	東畑 開人		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	風間 文明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学術論文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。成績をもってフィードバックとする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	柏葉 修治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

- 1．科学的思考に基づいた研究展開ができる。
- 2．自己の研究のオリジナリティが説明できる。
- 3．研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	伊藤 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学術論文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	齋藤 千景		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	布施 晴美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学术论文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	山下 倫実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学術論文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Mクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：

4年次の必修科目である。

科目の概要：

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究はおそらく生涯に書く最初で最後の学術論文であろう。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を、目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開して、文章化することである。

学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標：

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を定める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を計画的に行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 雅子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 人間発達心理学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Nクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

4年次の必修科目である。

科目の概要

卒業研究に着手し、研究報告を執筆し提出する。学生にとってこの研究は最初を書く学術論文といえる。それは書き手にとって4年間の学業の集大成であり、授業で習得した科学的な思考を目的、方法、結果、考察の過程を通してフルに発揮する機会である。

研究にはオリジナリティが求められる。ここでのオリジナリティとは、学生が1年をかけて問題意識を追及する価値のあるテーマを持つこと、そのテーマの掘り下げ、あるいは実証する中で、新しい発見をし、それを論理的に展開し、文章化することである。学生は担当教員の指導を受けながら、自ら研究を進める。

学修目標 (= 到達目標)

1. 科学的思考に基づいた研究展開ができる。
2. 自己の研究のオリジナリティが説明できる。
3. 研究論文が執筆できる。

内容

担当教員ごとに、ゼミと個別指導によって、研究の過程を決める。

実証研究の場合は、

- ・ 先行研究を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 方法を決める。
- ・ 実験、調査、観察、面接等を行い、結果を得る。
- ・ 結果の分析、考察を行う。
- ・ 以上を文章化する。

文献研究の場合は、

- ・ 研究や資料を調べ、そこから問題を追及し、テーマを設定する。
- ・ 文献や資料を集め研究する。
- ・ 以上を文章化する。

提出期限は12月中旬を予定。

提出論文の長さは、400字詰め20枚以上。

9月下旬に中間報告書を提出する。

その他、詳細については担当教員の指示に従うこと。

評価

研究過程・論文作成過程の指導および提出された論文の審査、研究の口頭発表により、総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。【フィードバック】提出されたレポート・論文はコメントを記載し翌週以降の授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】卒業研究を円滑に進めるために、文献を読み、実験・調査・観察・面接等の準備をし、必要があれば統計的な処理について予習すること。

【事後学修】担当教員の指導に基づき、分析や論文執筆を行うこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示する。